

あかど 一すこうナニヨリ 冬休み直前号

展覧会を終えて

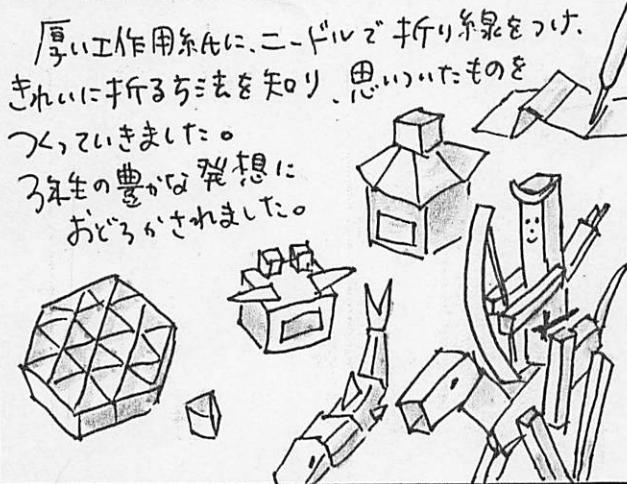
令和2年12月25日
荒川区立赤土小学校
校長 小島 武志
図工専科 中島 綾子

11月の展覧会では、たくさんの保護者の方にご来校いただき、ありがとうございました。会場では、アートを通して、子供同士や親子などたくさんの心の交流が生まれていました。保護者の方からの感想用紙には「持って帰ってくるのを楽しみにしているよ。」「〇〇が素敵だね。」といった肯定的な言葉が多く、とても嬉しく思いました。子供にとって、「自分がつくりだしたものは受け入れてもらえるんだ。楽しんでもらえるんだ。」という安心の土台があることが、表現活動の基礎になります。赤土の子供たちがのびのびと表現し、お互いの表現を認め合えるのは、ご家庭でのこのような土台が心にあるからなんだなと思いました。

芸術の「冬」！ その後の活動

冬休み迫る12月、3~6年生の図工室での活動です。

◆3年生「紙工作で何つくろう？」



◆4年生「幸せシーサー」

沖縄の伝統的な工芸である「シーサー」を、素焼きの土粘土でつくりました。魔よけや福をよびこむ意味があるとされています。
強そうだけど、どこかユーモラスな表情のシーサーたちは、3学期に色つけたり。



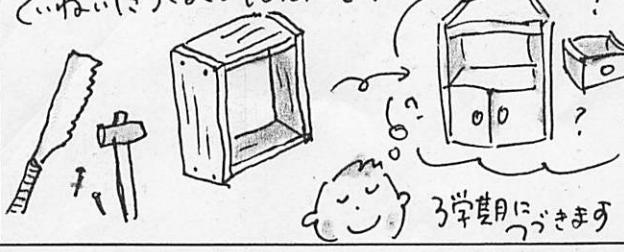
◆5年生「電のこマスターになろう！」

電動車の走りは曲線が自由自在に走って、とても便利な道具です。刃のけち、安全な扱い方を知り、ダンボールでセコの練習をしました。
「新年おめでとう！」をテーマにミニ作品を作成中。
1月初めの授業が完成。展示予定です。(図工室前)



◆6年生「12才の力で」

ぬき板という長細い板を木枠をつくり、そこには木棚や扉、ひきだしなどイメージをふくらませて、自分のつくりたいものにします。
小学校最後の木工作として、記念に作るよう、これまでのことをもめあてです。



☆図工のもちもの☆ (冬休み中、確認をお願いします！)

- ・筆箱（鉛筆・消しゴム・油性ペン）・液体のり（スティックはX）・はさみ（手の大きさに合ったもの）
- ・絵の具セット（絵の具12色・パレット・筆2~3本・そうきん・水入れ）
- ・汚れてもよい服装（上から着るものでもよい）